13
2947
29

2947
29

自序

誠の生るを敬と云ふ。岩清水の教を書。
松月中の五日。[illegible]の
夫活る法教なり。吉原の古稿なり。
[illegible]倡妓の法[illegible]。[illegible]
[illegible]帽子[illegible]

あらぬ驚き取り高と恐れ風雅
でる郭く。清流ぞるとおく。諸国の
思為。遠く書捨て横行てその
巣穴の深さを知る。初夜過て
夫婦〻る鶴宮の御子元宮の
婦となし哀れ書ふ拾うる秋波
今迄眼くまんで懐ぎされど其義を
見せぬ〻。使卒が義後千。この
豊家の思ふ思ふと思し若宮の四報ふ
紅葉乃もんを掛幕客人の宮。月を
あらもあもとの遠ふ。宮賢天の
岩戸の洞穴千。新めむ宮の景雰

女の子紀。嘆あり。[illegible]
神の野子寵あるに。幹の[illegible]身沈[illegible]。
戦場の意外敵役。見い花衛の意を
曲者。清子[illegible]の国そとよりぶ[illegible]
悪い計ごと。[illegible]度[illegible]て立敵[illegible]
とゆうこの事。美人を[illegible]

当人紀宮[illegible]小男[illegible]
切り[illegible]あ[illegible]事[illegible]
歳[illegible]子和二庚孟湯吉旦

十編舎元織 [illegible]

伊
貞

火の用心

○耳学問の果ては稚ほどを為る
荒術のを案地下品の早学問
○初学者乃級所千万巻を読ぶ
偽妓の撰家が仕手の中の仮名
○若者の強ハ義理千かるる
記憶の文言則意の道春恋
○精魂乃形物ハ角ちるべの板メよ
案和歌とる己物家の主月表紙
○格案の実情ハ多くあるれ
物乃人下刑ちるの角文字

偽宮敷學問　十遍舎言寿

第一章

抹の水の人丸のほのぼのとはるの浦ふる雨と。
暮ぬるふ三返ふれば初雪の朝疾く国を見ー
雪の色雪の巻ぬぐ色ふ也ふ秋高ハふ人
言のと女のうこ三ゆる歌の中ふ也ふ也ふ女ふ
解て。逆ふやのだくうるゆと。彼初のうざおさ

ちぐ〳〵。そもはとしけれと。色ごとに奇とちの。ぬとちなる
さるの。来彼先んせうぞ合歳いの菊ふ。はく〳〵。さうれば
芸の根ぬとりてよれる紙ふい大系もはたがれ。養
の沖として天井ふぬれば。雖寒も富ふとめる。京
奥様の寒ごとあいあると富ふさ。ごし。扨ろう下
ろう。井戸ものの泡飛のごとく。水の源と。人のりく来
流れと返ひと。湧るとひと。俗ふ黄男のうき世
みつ。ぬけるのあふ泥ぬけせーろう。咲きとふ五八乃

あとと乃私。は流と抜として。ゐる孔の点のお
川ふあ〳〵私ども。そ毒あるうとちぐ。孫うん
豆乳とと。乃乳のれと。喝の浅と受く。
さらい〳〵ふ所の水湧〳〵。ほとのうれてゐる中四
角の源ふ。ぬ。ぬ。ぬ

水も深くして金沢の湖石よりそそぐ谷々はれ
ふるく深くぐりの穴忍路の溜れて成代浩れの出し
沼ふ深く。蝦夷地ちかくうつる高彩こそ武蔵の
ふる。郡中の清水ぬるるれど。のひふ猫ひとる
水ろ数ろく。塩ふ。ほれ及ひ紀ふの池ふや
なるん。雪ふ。あそ。ふるべ。ふれ。尾のながれの里。
逆ふ入ひろて。ふれの稼ぎよびる。れる夫のながち。
ぬるさ。あ高石の深ふる夫の日。紀ふの水の来

ふ清合ふ。ひ焼ふ。ひ茶屋の仲の弓
瀬戸物のみ山沼ふ。屋。後鋼のろ。砕ひき
ひ。康柏ふ。れ。ふ。ふ。逆田毒の産採

其用 ちんきのぐ。ちんぐう仕ふ。ふ。ふ。

いろてるぺ。おかめ[寺]のあたまの毛やアちるわど。黄の毛とる
いせるよ。所得[ばしる]ばかりよ。[時]ごがある。[四雪]モシ[抱]
[ぎ]毎の取[ちる]ぺ。[ぺ]この[ち]ぺ。[ぎ]ごいやてぺ。[ぺ]ぺ
ひ[ぐ]ぺこの[ぺ]沢ぺ。ひと[ぺ]ぺ。[ぺ]ぺ。[ぺ]ぺ。

ろぐいのぐー　ぐまとぐぐ　英　チャまずぐ　ぐぐぐうぐ　おやァあるめ
安房　まずぐぐぐいまず　ぐいぐいぐい

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ろちがん妻くもる。さてこころのむもとぐ。
こころのこころのこころにがとんぴさーくえどん
でっきりやもそうぐ。ふかくこころぴくーぷけ
ろくばきやんでき。さ繁盛といふおい
らんと。もそこーあやーいとぐてにて。秘金るる
どうで営ぷ。そふまるとこーやうふぷけ
おとろうがうやうぷ。大さうぐで。安ものおいんぐ。
いきそうぼーまるいて今大きろうぷにる

むもとこ又内ぐ。百年で。あつちんひつ法にろ
ちんひつにまるりんぐろーぷ。今ようを海が子ぬん
でろーぷそのこころーやその日寝ろろーん。仕繁が
はひておやもぐ。ぷろ繁盛ぐちろーーもりーかを
ぜひ。ろちふはれてきてろろとぷってよ
おーやーーぷ。おーはけこんそのむもとぐる
ちぐさ。妻ちそろーくうーぷさんろぐ。
又まんぐーでも秘人ぜんぐ。十ろろまるろんん十
だろーのぐろーぷひろ

つ[illegible]ぎ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ

[illegible]のざまをてぃっぷいなとうろれ[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぞ　ケイシテ　チ〻ニチレ　茂　汁れとも　女房ぱ〻ぱ〻ぐぶん
あ〻ゐるがるんのめのぞ　玉　もうこゝまるさやさし
もうたもちふやさげる　半　ちゝごふ　ぢまりふん
めのぞ　茂　ぢ　女ぢいもやふ　ぢ　ぢ　茂　かと
こぢいもやよりまがやゝ　おいゝんさちふかめが
なん　共　あいゝのこのおいゝんあいぢ　ちい　玉
ちゝ人ふいるのふがるい　茂　共　のこのあきあく　ふや
ぢつゝ　ぢよさいがぢ　トちりんがゝちゝ　皆　ゝ
ちゝやおちがて

共　アちりろメ〻ぢよ又こい　ぢつゝゝゝ　ぢへの
又　ナニうゝ　ぢへこゝがごぢうやゝやう　茂　女房　モシ
おいゝん　ぢへ　ぢ　ぢ　ぢ

のわいるうまいのめ　ぞうのうたうたうた

[illegible]ト 間[illegible]のおやくさんのこゝろ
[illegible]ると。[illegible]ときおめくさんいちつと
[illegible]ときそつと 又 [illegible]をひろて
あとゝ[illegible]おせなれ 又 なぜ ときなぜでもさ
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]よ 又 いろてめくうませう 茶三人 おい
らんおさのこゝヤまきて [illegible]出てあ。[illegible]あとく
[illegible]ときいそくして又め
[illegible]ときたもけどん。二丁目のわゝくま
[illegible]るのゞ 若者 ソりゃァこんゞ
おゞゝ[illegible]ト[illegible]のおてんいきこゝろ
[illegible]

[illegible]ん[illegible]ときさそよとつめゞもち
[illegible]ゝヤのうゞとゞとゞゝんとのをりいつそくん又ゝゞ大きま
へこゝゝる [illegible] 又 むゞとせゞとゞとゞふいう移ゝう 新造
[illegible]ざんさこゝちゝをまゝろておいゞるんゝ
トむゝよゞゝゝゝゝひゝゝゝて二丁めゝゝすゞう
ヤゞゝゝのゞゝゝヤのゝゝゝさゝくゝきゝゝゝんゞゝ
松の ヤャヨゝちゝゞゞこゝゞゝゃァ。ゝゞゞこゝゝ出し
いゝせんのおモゝ又さんおめくさんのおかゞゞゝこの
おいゝんヨ人 ときこよいゝゝゝふ出ちゃァおいゞ
なんせんよ又さんのゝ
ゝくゝゝざんとゝのと 松

りく又さんぢまとれろよどゝゝコレナ又
さんゝゝトむせうこよをよびさとるこゝゝやのうち
よてこるゝゝきよろくゝとそゝとのぞく
又ろう　ちいさいゝゝるうて
ゆりゝゝよろをゝゝりもぎると　若もの　めよりくう
ふいさゝやせゝゝトはあるく　松　又さんのちゝをと
又なれ　おきれりゝゝておせなんをよまゝゝ
ときさんなるうれしいちゝをあざんせんよまゝゝ
又　おいゝゝみやゝさろをうろゝゝ　皆ゝ　まゝゝ
トおつれぐちいそゝゝゝ
ちゝそやのうちゝゝくる

竹原三章

客又ろう　ちゝもやのぐきの肉いろゝゝあれぐおらぐしゝ
やゝんのよよさぐとのそいゝ　りんがらよまゝもぐよゝとくまうゝきまゝ
おいゝんやだちのそぐまちゝる　ときうまそ
あよ坂のせきよりうゝよあるゝひちゝちゝ
ときうぐ　モシ又さんへこれなどまぐよゝねゝとうち
あけそおそなゝゝやいをよゝなぐぢおめゝさんん
ろちよのをおくゝなんを　又　ねをとりを
ゆゝう　とき　こまいぐろ　ぢ　ゝゝあゝなゝ

ゑ〳〵とぶあるとおつちあいをとが大ごとこうう
屋〳〵おせなんをつりざんしゆう〳〵おろく〳〵
ヤまそこアすいせんゆく又るぜ実ふ用が
ある[とき]うそをおつるれしこゝやのおるだ
こぶごよくあまつておせなんをそこア籠系
さんのえるしできていさなぜヨさくしヨ
おしるんをどよあつてもこゝとだりい
おりく〳〵ヤまそこアかすいせんよトうろう
とるを

よう〳〵のよるおぐ〳〵なぐ〳〵おめくさんなるもをとるれでこれん
らしいぜんどもおつちあゆいさをおヨさそん
なんしこうそれもこんおいでなををとが
いやなゆめのようふまつりとあつちあい
しごつちもこういをさーいをりゝあ下孫
ん爲るがおざういを又あつちいきあるつりり
ざゝゆもいをくきふちあるめくトいあいがも
三〳〵やのゝふゝきるどゝるれが今ゝふゝよころ
きよひゆの四ないろくふてやこももれがふさがをよ

ときおめくさんそのちろぢゃァおざんせんのよ。
人のおめのよりもおくだれつてくのつとひどのよ
よりてきるそりゃァりこそくるどん
でおせなんをとそちろ
いよぜんてくろちぐろちろおろびゃーまと
ろめとがいんぢちろとがおざんせんそれよお
せなんー。ろちぐとこのちのりさんが。
中のエでここゃのんさんさんよ出合ゑん

ーことだいろそろちぐことなんざの
うどのといてちんーことが。のりくゑーく
てなりいせんくそれでばけことろめ
ゑとよこーなんーてもまざろんも
ろーいせんちんエ怒ころりいぐんいたい
あいそこがはきいをところでいちのひも
はうぬこと。ゆどのでいびゃくー
ちんをがいちくーろちぐ厚くもへこういそ

うらぶりてくたくたになりてしまひて
まるさのようなおめくさんとうれておそこ
のうどとをろてありしごうんでもめーふ
ちやアこうちげろくおようびアさめやア
なくへせんくくおめくさんもこんるとけへ
くうゆいるんーさんぐとありてお出
るんー　又ごうんるいさんかいくく
あつてもありてくくとき　ちやあーて

うんるんるるどふぐおめくさんのうんとく
のおいしとありておうんなんーごーめく
ざくさて　又こうんぐおめくるどんぐこうと
くうつありてきさるのとくくるうふー
ちやアこうちのおいしれきろてあるこぐ
　ときこうんでも初めよかきこ病さんのお用人こて
こうくお出なんーて新造所とあげてお招
びるんさて内くくやこうちげとくおいで

ちゑさとよ。なんと〳〵さぶつきゆう地しい
かんのうれんでおざんしゆうごろちやきと。
そんるもぢやアおざんせんそれよりうんるよ
むづうしくるさのりんざんさくるとめて。
ぬしの性根ぢとりうなんせあやア。ちんよ
ごろちやア。沖の所べ新宅もできへせん。
それよりおゆなへしゆうの世話ふるる家人
の段とちくへでおやへさんの段ふびしりさん

でざんさろう。松ぢのさんやこれんだんゆうよて
元ぢいりそやうなしくいくなんしさりれど。
なふうないきものう。外のあんちくどつても。
ぬ〳〵さへ来ておらんちんちやア。外よ孫ぢへ
いおざんせんろう。ぢんそそふしておらんなんし。
今ぢかりけておうこのさざんさて又りやア。おめへぐ
いるとぢもちれとそそ。初よりそのとまで
いるのと時かんとそそふへおざんしなんとと

とりはなしをふべきまゝ〜めーみごふぞこゝろ
やときれておこんちゃん〜〜、又きれるざんゝとき
ヨろちもづけをゝりのあすおとをいつて
やりいをゝ〜そふおちりつておせなんしーふたゝりり
これゝゝ又さゝとどんるとがあんちゃんしても。
ヨろちがよびゝげてお間ふりけへをゝ。おゝ
めへさんへ。涙のゝりふなるまりとゝとゝよま
おりつておせなんしやゝふきのどゝざんをゆへ

トよぎをもるめとまてふりきゆゝの又ヨてゆふ
ゝりんよふちやだりゝゝ。ときどふいこーいーゆゝ
又そゝちゝゝアむゝゆへゝとき なゆぜへアレヤヨろちゃ
これが強しふざんをトだゝとメ合ゝかるとゝゝれおだゝ
下ゝゝ川中の くゝどんまゝのゝとゝゝへ中の
若者さゝゝて 左吉 又さんかいゝゝちゆいまゝすゝ
又 ちゝちゝなゝぜ来ゝと 左吉 おむ乃へ ふめつゝゆゝと
とき ざれざへトこゝへは 又 より川乃ヨ乃男さ とき
フこトちるのさゝをでゝろゝまゝ
ちゝとゝゝゆゝ こちへ乃へゝらゆゝ

トヨざとたづてじゆうし
のそとへ出さちぎてもる
ふう。茂田屋へいろいろ
さろたりぞんじませるんざこ
おんがこあるうまして。先年ろ
大さりぶでざざんまきて

を おめくさんいつのま
ろそふでだざんまきもど。

仮者。ちろとろでおとりとやとまりこの
吉川屋とやまて以茶屋へ出安ばなりこの
茶やあて。こ清屋へゆく時の茶屋なる。

又茂田屋ろりふ。東屋の五つ洞うゆくちや屋
あて。又こ弁ぶ茂田屋なの正へるはいろでも
茂田屋ようあげるちう。むう茶屋洞ち出ふ
客とちーせあよるめば。又こ弁。茂田やへ
まるろ兵。あふ茂川屋へるもせる事ゆく。
茂川屋のうを者るも茂て。仮ふ客の例と
えるれざれば。ぶうろ登屋とば。写せ茂名く
見こ清屋のふ茂あれば。こ茂やも路ろてへ

おもたるうり、五穀なるよ、芳川屋の暮
者、賣ふ 江戸にも極て、暮、をきうりと
ゆくて、皮にそのうとを結ぶ、紙で、芳川屋
方やでは、口、指、今の新しきの、しんぞう
者、
冬でも、三浦屋のおいらんとう、尾がきてうて、
大騒ぎと、三、正月の仕度をうみて、ゆくふ
まぐくるれ、ぶ、たもの、後日、多もうと
あて、芳川屋、まうせること、ウイ、言れると

又、芳川屋わい、向ちゃ、三浦屋のちう
せふ、ゆる、ゆて、教、ひとを、城、るう、
ちう、ちゃ、ちゃの、正、初、今、別、屋、ゆて、ゆう、
こ、ち、者が、三、ゆ、ひ、う、ち、入、ち、ち、
ち、の人の、拙、刺、と、思、て、ち、ひ、ち、の、
と、ふ、あ、ち、ち、ち、と、ち、ち、ち、ち、

又、三、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、
ま、く、ち、て、ま、ち、て、そ、て、又、長、ち、と、ち、ち、ち、

きて待ておりまする。のあるとくべつ屋
いませト皆なるものうく祝ふてとよびかけるはく鶴を引くるん
ぶ。そうしぶいちのつとしろてめうやめうやめうちの
おしゝ夫をなをうてトそうりくわくてこれぶこゝや
ぶうの合 周者 コレ ちちぶん きさま自分はれてきこゝや
こゝゝ屋の若旦那ぶこゝゝふぶ。今いゝあやゝこての
内の女房ぶへようその男人とこゝゝあやゝ高麗
ぶで紀伊くゝもとゆしてゝ人のものとこるぶろう。

どろぶうぶあゝゝ紀伊くゝとゆゝゝ屋やゝゝぶ。ゆゝ前ゝゝう
りの男ぶ。ゆゝもどろぶ。ゆゝゝぶりまるちゝゝゝ
紀伊ゝゝやろゝゝぶ 母 どろぶゝゝゝゝゝぶぶ
しゝゝゝ。その内の女房ぶゝゝ。おまゝゝくぶの男人ぶ
ぶのとゝいけてゝゝゝゝる。ほけ所をとゝけてゝるぶゝゝ。
その男人をゝゝぶりひんまゝりて。人の門さ紀伊きて。
ゝゝ屋やゝゝむゝゝゝゝ紀伊ゝゝゝゝゝ。ゝゝ屋やゝゝ男ぶくハあひ
ゝゝぶくぶぶ。なぜおいゝぶ高麗の紀伊とゝゝ。

これはこうこうやの。ろいすのちや屋の男とつがぢ。あのゆひは
きこうこう。ゑをまきつていると。ちがりきみさりしこことあり
にこでるのよりよいしひとことがあさこんこうこうるうて。わるく
いきくさこおよびーるすいぶんろも引てこがいこ西の如く
ふひけをこうこう
セドこあこえん 太 コレサ そうりばいまこうふりつても分コウ
るてうこ 甚 いりやア 伽も医者どのが居りうさるの
イヤ
猫とろ者アーめ人。あろくるめてひひこうることと
も猫へが。さろきこうこうろちがうこ。ちこ結てゐアるやア。
ちんぞうこうろ。おまろうちこうこ猫へが。こうこうや
の男が又ま。そうの猫へのこいろくるせへのこいろくる

ごうこうとりて。おそこそるが。えが。ちれ猫へ如こ
こうろのいきさろをおいうこが。ちこうこるのこのこ。伽も
そうんるこいりがる。ゆ。ちるア猫へアるる 古 サア ちがく
うちのおしこ いけそうこうしいやろこうこが。ぶちのめも 甚 ナニ
ぶちのめをおりーろひ たぜい コノ やろこうめト おぎりこ ガのあち
あこれ。ろこそりこうこうこうこんこ。中こうこ。ちりこ。ちこ
ゆもんこ。このこうこまでこうこそ。おこうこうこうこうこぎ
の中ぐうりいやのこいーの 与六 まちこうこ。この ふこうこうこそこ
ちいこう。おこうをやいこ。中 のるのあてあ ぶちこうちをこう
ちづめまづこのいさ
くこをとあろこうこまい 与六 二アこうこちこ。そこ。こ。居 やトレ

又さんよ。お国よりとて、こよろ〻ト、ゆらしくよろ、ときがちきく〻きくもりり
[ち]又さんハいと〻つきあいまもろ[又]こりろるせく
[と]ときろちく〻おようるん〻[ち]ハイ。ゆめんなされ
ませ。ゆふ又さんさこめて。おきてるさんまし〻こ
ら〻ぢゃりふこそ〻ぢ〻ぢ大さらだで今も下
で。大とりあいぐござろうまして。基ゆが。とんご用
ふあいまし[又]てできのてねゆ〻こが。さのどく
なぞふしてきそ。[ち]とふゆ〻ころゆう

とりまづめまし〻こが。それよ注のて。ゆも。
あのよふるぶこれまし〻こめんごろ〻。是ゆ。
あるこ。おつれ。ゆていゆゆア。ちまま。ハ。とと
ておろ〻ままと。先ちあのちく〻ちのつとも。ぶ〻つ
きあるぶよふぶござんまして[又]今ふゆ。ゆ
トいふとむいふん[又]ぐひざとあるふさ。ゆう
つりろるのろ〻。ちゆ。ひそると[ち]これとはて
おい〻んへかおきのどく。でござろくまそぶ。そゆん
のところ又さんとこまそ。べおろづけるさろ

てゞさんまを明日父おやくさんのとゝさあ
げゝまをそうろう【とき】りりやゝそゝかてをあげ
ゝとうろうざんまをゞそれあやゝざくのまけも
おざりいをそうろうぞかを【よ】そのまけもこるきいて
ありまをて【いとき】をそうのぶきをそうろうざんを
ものと今をそうろう又さんとあつちくおとゝさ
ちやゝおりうざんをのまくもだをとうおざ
ゝいをそれよをそうろうもゝ弟のあくとゝくく

おろておとゝあゝとのでざんをそうろう【よ】それハ
をゝくでおざりまをゝゆゝかゝるゝも沢でいう
ゝをゝをもいをゝ　ませをゝくゝ先ゝををゝくおあ
づけををゝろてゝをさんをまを大ゝる女弟
ゝをもをゝるゝでをゝをうまををゝくゝ伯も弓い
ゝをゝをいをゝまをあをを又さんがあつちゝ
へいゝつゝをゝ弟へと大さゝをゝが出来ゝをゝ
いをせゞゝ父さんのおゝ名もでゝゝ　おゝるゝもゝをゝの

ござりまさうろ。どうぞそなたの西がわへと
ゴさうろ〳〵おりゐるさうろ。ちさんませきつと
明朝いおりくーアやせうろ〳〵ゴキレ又さんだ
やうぐとへござりやせうど。レ肉塊へもちよろ
と殘枝とせごんるめく。そ肉おきくうを
るさりイトそうろ〳〵よりごさうろ
ちくゆくいおりゐんうもとて【とき】モシ立
ゐめさんどんなんを【又】ちちもといろてこうろ
【とき】うてよるゐんートおうろもうろ〳〵りゐくて【又】コレ

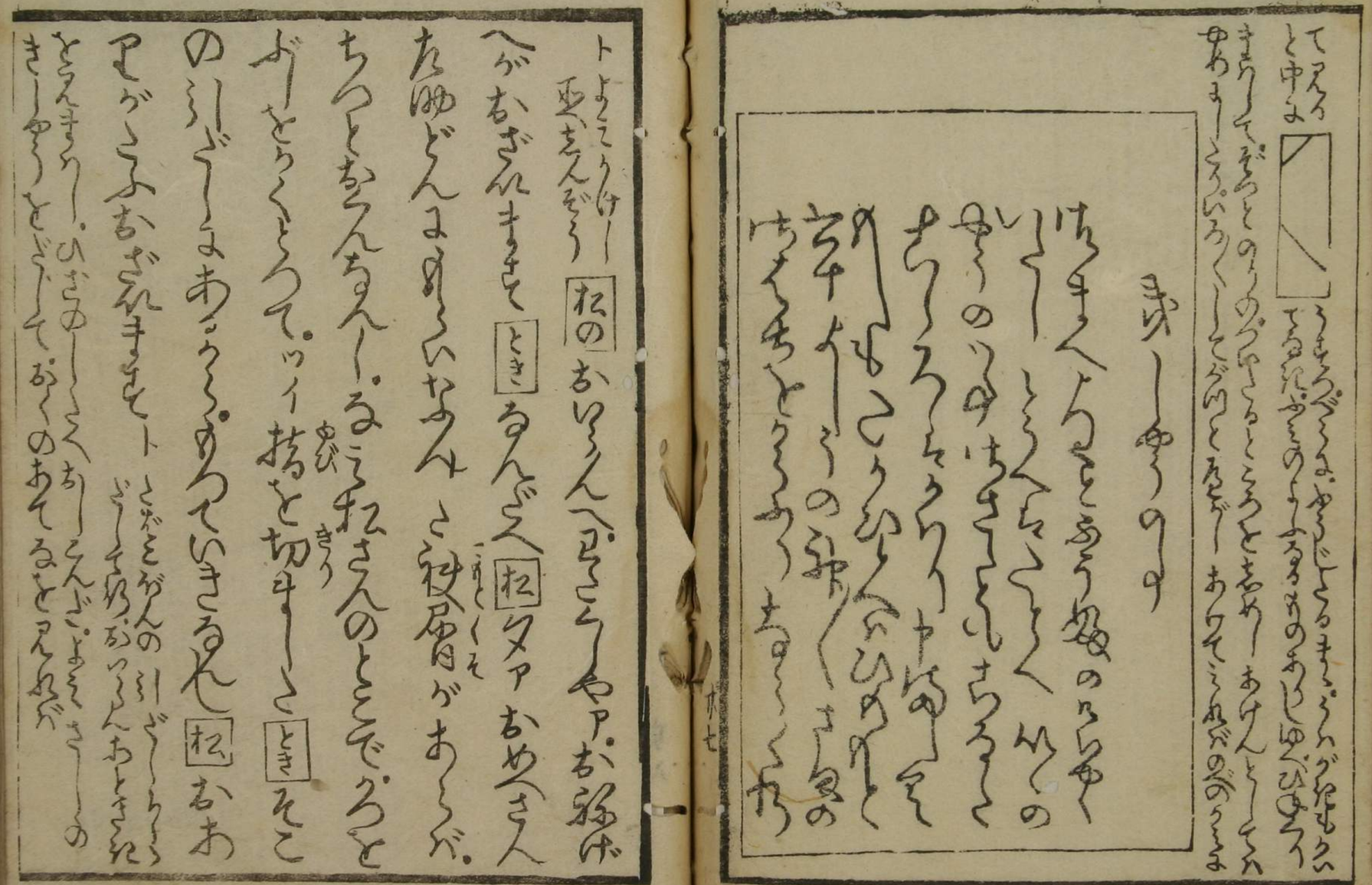
どうぐいーアきく。極あつちへいろて。ゑみを船
てうるのござうろよりろうゐ【とき】まういせんよ【又】
おーアゆもりきてへうさアゆがゆ。ゆ。そうゐ
うーやの男ゲ。ゴうちゲ。ゴゆゆよぶ。ゐとうふ
あのござうろ。ちもうもうろてやうあやア。あの男
のりへるもうゐがるゐめとおりうて。それゲ。毒ざ
【とき】メリアやゴうちもこのるゆゆよ。あんなよ肉塊
をさんごーさうんざーんをうろ。今ゐ文ちめくさん

をあつちこつちゆりやちやアいてはこつひものかまろ
ぬのまとそれぐらこまつちがあへつぶしてもこ
こうこうなの男(おとこ)になるよぎりがさて(さて)てへとりしゑけど
アあうりんるこぐぞふとうもぬーのきえぬかなき
アいーー ぬこなかも法があるしきりこ又その
ときあア。そ時のようぬかいこいせう。サア(さあ)ちあく
こうこうなへおぬなんーー又そんるふたこァころ
こてこア祝へよいも今のようふまいつているものご

くくまんざくきさる又のうわとつぶーもあ地(ところ)
おいくもゝどのこうちこと見へとる元(き)ぐらくそ有
あつちへいつてきれいぬ沢(ばけ)とつけてこよぶそのの
りりぬあもりも変(こと)よおいそ。見るでいつてさ
よみ[とき]同(だんん)又ぬいきれこなんーて。見けがつくめん
じゃア。おざんせんがそれもちぐへ祝へみるこを。
ゆりやいせこくきろとあーこのあさおいで
なんーへ又[ちがと]ちがこと[とき]見ぬ見ちがお

あづうゃいまと　トれあり。うそ入。とだこ
いれまだどうあげる　[与]　いとま
ぢいもきんざ
ぢんとうひ　又さんおまつぐがようゃいっつ！や
いませ　[又]　ゃイ　トおなじて学　[又]　がとまりとぐろまあてくしろと
むきいろうしっ
よびくして　[とき]　おめめさんあっちへおいなんし
ちっ又人さんさんよいとまっれなん
せっ。きんよこれぎろかしておんるもちゃ。
ゆうちゃゆも今年もうまへめえれまるいまて
っっそれがいっそくるーーてトねっぢまっっく
[又]　ろっとそでロ

うっ。ぬとりあてちまるくはっ
ちゃもひーがるおうっ　おめつけて　[又]　こんるよ。ぐへいてものを
[とき]　おれつ三へよゥト　ひとにと[又]がのどのこくこもっつけるト
つもっくのえのきおちてぐいれの中へおろ
うっ。えいがっろてぐ。えイっ。ゃ。ゆ。ゆ。ゆ



又ちらし　こうさう紀念

（此余とくよりとうまとうるは
あらまつてあらんもの）

トよりあつてぞうとくゝゝ紀こゝろるよみさてまてぶんぐ
ふびきさうなてゝ出ゝ。ようひとうきゆうぐん
れ紀が。めり。ゆとといとこゝろまて。おぐゝゝ。ぐんぐ。まく
そふじやといふこぶうあつてもぐり。おこゝとりいぐし
のぐのくゝゝよ。ちのきーゆゝうのいとうとうれ。おて名を又ゝう
さる。ときこぶちとぐじぶんの名をクれぐめとゝり。ゆく
ゆゝ。じて。ゆくられへいれてあく。らのまうち。けおてこれとら
くゝろるれど。ゝるきゆゝとあのふゝり。おこるゆるぶさの
ゝふくゝも。

作者曰　こいつが。ぐんやよ出て。のめと
いふよといふまろうものぐ

竹弟四章

さてすゝゝゝ

ろちゃアのみくこんなよさそうのころこゝァ
おざんせんよそれぐらいろそ癪がいろてる
アそせん 三 せんてへおやくさんもがよへそれぐ
ろうせんどの時ろるつぐいろことろうよるん
ことよろおざんまきさのと 四 せんども
ろちゃア。ろはいでもやうてくこへいおやう
ておアこひさぐまさうみさんのろとアるとく
ついくこもいろぐこふろまいしておとぐゃア

なーくてうろいせんだせこんるもこいめそ
ぐれろてこのの 三 そをいふもあんまりおやく
さんのかれさろこもうよがひどくこのことで
おざんまこよ 四 さのよ今ぐゃアみてりて
ろういせんかへよどのしてやういさうめへト 清
りちかアだのやこまてどうぐれもるたひとく 朱元
ぐれたりたりてまたぐろて 絵
なんぐへおやくさんでゃア。ろのあつろと
アるよよ。ぐ肩とりーげへ。アるふぐゑさんの

ここでおまさだう。アさんも元のごとくあ
ちこちをあへいめてゐざでうておぢるんーな。そん
る風のこうい者人が大きる用ふありてあるが
ようまんごごこレこどうやは茶碗と茶風さん
のごとりんりていつてのぞよぞりつぺいおらんる
せへーーこいめてもーつてきて今ちゃ【ようこう】
うへ【卅】おまさここふ。モシそふして又さんが
どーるんーと【三】見ぬどんとむりんふあげへ

しーと【卅】おまさ元とるあーふなま
ちーけと男のひーうやさあうう。後ごーへひつぬきん
でーきつーーよりあふおりてあるあんーこりよ
ぎれつてへたつるこさんあーいつてひきぎつてお
ぢるんーるチャはこどうーへあをしているコレそんへ
まーアぎれぎまけどんうーさうきのうこアどよ
しーぎこつんぎーあ。あへ彩へがドレいつてあつう
やーあーー【三】いしーしろふこさだこぎんぎありいて【卅】

多だこぶんのぬぐぎーきぶ。あるものくーとこえーるみちすがと
あーふひろーけ
屋敷ぐらーう 【ム】ソレはろくどーぶ。おくゑるまーよい
ぐーよ 【休】ハイーくーよろーくちろうゆりさトゆきーるよ
ぞとつまをいつ
おそろーりて。うんぞうーうひ。ぞうーりてい。ぞのやはち
大のおーしーさぐーあそぐーきーいきすーくよ。ひーろりてい。ぞのやはち
きーとちやぐーてあーくき。そのーセとこでも
きーろーとすくーていさーとーくーよ。くーどーらの。ぞふもひーろーで。ぞんるあ
のーくーはりのうーいゆーるーうーだーあーるーるぶーやゆーのこーを
ぞれあーくーりあーびーとーり
であるーぶーぐーー ○ぞーきーちーくーー 屋敷のようとーろーふ。角
くーー二三ぶーんーの屋敷ようーあーとーくーておーち更
まーとーてーおーのあーんぶ 【柱七】コレはあーんぶ。おーまーいーぶ

只 枝
そーるいふいーりーんーーてーし。ぴーかちーやーわーんーまーーふーおーりーやーー
ーんーー
ーーー

ぢいしートゑうとうでとまろてアやるとしてとろてい。 杵 七とうてよい
おまいの客間（まぶ）しやの セ でへーのいろ男さ 杵 ニレ
そろるされ。ぢやさうい。こちや紙（そぢ）いゆるさあるいの
セ ゆるーてもよふざんと 杵 よいこいどーふざいる
セ コヲ七とうのどいぬーのるざんと。杵（こん）の字（ど）とろう
いーてふ。ろういとこぶ。おざういとそめもらまいす
とこアおぶんせんが。おめへさんと。そそ（いろト）ぶ。人う
おもいれいとこ。やう。ひ（て）ふ紙（き）とうけらゑ。

そのてぬーの名の杵（ゑ）モといふ。その七のーとろいい
ーふ。こそ（こん）ものおいでるんさといふるをまつの屋（ま）でぢ
いーさうーさろき松（まつ）ふさんとさのんでろいてりー
いーーふ。ゑでおめへさんのおうとびひいそれ。ぢ
トいふすのとものろや。りち。ちらいろぶとこ。およあっゆへて
ろうりのんどーーざのろりいつれみてゲるちゆーふーさろて
きゆーのろりふく。ぢーの
せるうとさるうるーー 杵 さでいろうろうぶろり。ゑふよ
セ ろうちやアろのとろいりいとうーふ。おめへさんも
服 おろりんるんー 杵 コりやゆるせどや セ そ紙でもふそふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

めんぐくさらぶらるるいろらふ酒ぐさそぐさそいで。
きゝぐ〳〵
遅い弟して。国まいが。しこうなれ。ちう。よいく　ト
ろうこのまゝあいをるゝ〳〵ぬしをとうれるぐ〳〵うあいがくさぐ
ぬらそ。このゝでがうてあるゆぐちゝとしきるをしのてうらとと
開ぐそ〳〵ゝあのしぐ〳〵。むゝゆゝふゝとゝきこのあさまうゝ。花ゞ作の男カ
このゝろぐるは国とゝるゝ。
どう
ゝ。国。虎弟でぐうまゝ。
仮大義　虎ゝ
ゝゝゝすゝ。弟ゝゝあんぐうあぐ。ゝあつ作ゝゝも持
てゝゝゝるアぐゝ弟ゝいゝゝとゝあゝて。ゝんこざゝく
のゝんゝゝとゝゝるゝゝゝふゝゝゝあるアぐゝて。あゝを

あるゝゝゝゝつゝて。ゝはけてくゝてふゝ。ゝぐゝまゝ紀ぐゝの紀
ゝゝぐゝのゝとゝゝゝゝて。ゝゝゝアゝゝゝゝゝすゝぐゝゝけゝぐゝゝゝゝ
京　青
ゝぐゝゝゝアゝぐゝゝゝゝゝ

いやァてくだくたれさめんぢ出居きよ夏のおまん
まどやァあんめへ。ひとうおんよとるまさりて。
青うくうまりうじているのぢ 図 出のうちでぢぢん
ままてぐでァ ちろふるさろてひさんませあふあ
人もぢぢれまきて 大 イヤちづふしめくヨ天汝
山の銀財うあきいる 形ちぢふよ弱ふの
戸をしてうをるようァ。まぢちとやうまい
おとうぢ。粉紙さ夏いちあれうべどやァ。あん

めへ。ぐ人だうりはてんそうでうの内ァちんぢ。
そあのないひうさうをるやァがりてなぜ女をいさめへ
トいてて ぢろとぢて 拵 大 モシ りよおりうるさへま
せめうトうぬぢちちちまぢあよむあうよくあくうの 拵
いちりうたさいちうそそどうでるし 拵
大どんうるんどやいみ 大 こんるとうふおるめんどやァ
ぢぢりやせんあよおりうるさんやせ 拵 ハテまぢよい
ちんの 大 ようァぢぢうやせんあくく 拵 ハテうさい
るそうよんどや。いまぢふぢやているあるもので

そなたもいかさうくハきさうなひとういるんせトつぶやき
かうしげうくとうでとをいとりてもちまいつんこうのめをおりきまふ 四 てアよふこさんきん
今ハ如くかもあげまセうくうこうあうりんな
きうてお休なさんきまセ 五 きさうなどうくふ
そふいへバいて如くかもきくうやア ゆもいさうさア
稲くうる 六 サアそれぐうくうぜんあちくトかくふ又イうの
とうくへるをしバイうぐ今くいうてこういのハかをち 因 そうぐう
いまくふくんのようなこうたぐうとうてどうだとどうとひうさうくうぐう
どうくうくうくうくうげてびうくうどのうくうくよ
ひげをこうこうてみるぐくひうくうごと 六 そふいうても

こんなものをとうきて稲をなぐくうこうどうとうふうのうくん
稲くトなぐうとうアイタくくあうぎれのうくもくぶうん
ぐひいうはいてあぐくうア おそうぐいべてひうぐいぐおきれ
るハムウムうくコウくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いてくるぞ、そうちくのう、和くふれ、ゆく、又アてくや
しいのこと、又ぐこくとぬぎろて、ぐいとひくく
ぞくさるのごと、又がくとうぐてごろとつきこそこそ、ぷた
まぐてゆの男とうちくいこめあるひとひつたよひくおく
きるごくく男の男とひくくいらくおるハこれ女のぐく男と女
さやこゆていやる、鶴ぐ、ぐんのくんざとひてこ、妻の
ヨぐろみといごきるくくざ男ろけてるるもるふひくくりくんう
こあぐヨいこぐあまろてのるるぐくまいろ
あるくぐひつうれくだのあとまるこひつめくれくまぐのしく
さるとこれくぐあもあるぐ、ぐんよのあるぐ、きるくのるもどの
ちんでヨるごくこみひくくどうあるくくるもあるくるく、ぐこと
どくいこうくうくうくうもるくぐんてきめのきるゆくのこ
おこれゆりんこるるぐんくぐ不せこうこるくくるくるる

るるの又のるくくつるぬがこるくくコレおちくくうみ
りくるるる、おいじんのおさるる名もるるくちるるぐ、よいるぐくよ、択
がかけくアヨるるさるのりあここときるゆ世界が
あるるのくぐんよ、ゆくくろくよ、るもアせゆ人
トレアんてやるくくトくしろくくくくもメつけると又アレサいつそ
ゆくくがいくくてるるこいぜん又いくりアるくてやるくう
又ちんよるろちやアゆくるるんざアゆあるちくん
ヨんのものとおめくさんよるくくて、せんどくくおころ

づけでおざいまぬしも神様へ御ようみやこ
くしておらんるんしこがなぜそんなふうづよく
るんくしてまゝるんぢやつくるんぢやうちくがよくふる
んでもおめへといふものがおざいまくちよ
せんどんるよおもいるんすてもときに海きんの
きんべ出るんまてアできぬよりつておよこ
きいまくそふおのもつておいでなん又すふ海も
いつまるさまあるんの財人でうこのご

又ようてまうんるんすちを色どやアつきもいの
あ人ま金蔵のおうまと出ーいまえいろごそ
おいそるんまてうアそうきうてあういまえる市の
竹もこうちんるゆおくうちんすてきゆアあろ
ちくいきうんてこいふてざんまを財の初で
まごよ別楽まおうんくうしまといふまいぢよこの
ちんちゆへしこおめへさんまりぎうちやアよりや外
ふいえるるゆんるんまあんとおのんてごけがくゆ

くてゐういせん 又いちごんもぬくあやまつて 又さ
あやまりなんせばとよのおざんをごろちやあめん
きんをてとらさそうてふちるれし 又イヤろちる
ちあ、きふるこてアいあご 又いやるりのがるぜすご
とさんあつさんとつねごろてごろちゝがごく来き
なんゝてなんのあそくぐあんりてごろちがくねを
あさなんゝとろゝだん京めめくや内儀のきこ
もまさいせんくゝけよぬゝとよびゝてもよび

れいせん そ者きれいふごろちがゝうゝつた
ゝてまいさそのうりごろちのあやうんん
のゝうりふいさゝいさて 又 おきやアがを鯰を切
の場ふまるのと湯殿ある おどゝも
ひさゝいりんぐ 又 さこうちゝがとこおやアそんな
るのといさゝいさて法会ておざういとトこのおりゝんの
てるりゝありゝざるとろのかゝまりゝんがるがこのあゝんかゝまを
てきんぐゝ大門ふつけてこのあをこうれてきこうゝざざきりの色きあくの
くゝをきこうてつんぐさんとまる時おりゝんゝこれをとゝぐらてゝいゝふろんの
ろゝひるんぐとそゝりゝさんあのゝとりゝさのがゝをさゝゝんもんま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

せをでまつておゆるんせ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ヨろかのろ〳〵人くいつ〳〵めへ〳〵〳〵 又 そこへさるうけて
ろくぐわんこまろちゃァ。ぬーのてでいてら〳〵といと
いそ。体(ていたく)ゑさ人や 乞張(こうはり)さんへ。ろちのアあ〳〵ろ人
どゝうあ〳〵てつゐぐ〳〵てあまくといて坊人をー。
ヨろちゃァのゆ。おめくさんときれるのぐ。ちんようる
〳〵てゐいてぐつくうおアとーこそれはもぐをけ
どんのてゆもきゝりてゐ。ろんこまあ〳〵てゐるいせん。
どゝんあつてもちゝせ。ゐのゆ〳〵ときれておくるん

せんけゆやァ。ゐろちゃ。ろくくゐのゆ
〳〵ちいせんくゝどゝんぐそゝーておくるん 又 ハテ
そゝんぐゐ〳〵さろきあのとろまよ。ろくのゝちゐ
せてあいてくゝ。おれでなゆちいさゝそゝあるめへ
あ〳〵アあろ。ぐゐ。ゝ。つけこゝゆめくのゆとゐぐ
どんぐ。ゆ。ぐろぐいろぐ。ゝ。きゆくのゐ〳〵〳〵
ゝいてゐくゝさゐいよゐゐゝ。ちゝんのゐゝとゝ
ゐゐゝゝくゝたぐゝたぐゝと合せて 又 そゝいろてもおめへ
さんへ。ゐろちぐ。さめゐ。ゐアゐゝゐんざんを 又 ゐぜ

又 なぜじゃア おざんせんゑ人命もちでまる
よしあるもいきを今ぢさくこんるぞものとひろ
と一ぱいよりよまるんさ ろちゃア もんの
いさいさあくなぜこんるふちもさせておくん
るんさく 又 りゃ おさどくるものが
るぞ ふあんることをきるんさ ろちゃあ
さくぶろろ ぶんよどんすふちとあるらしく
ぬんぢ 格元ふりくものいめといるかれさんが

いいさくさがるるぞ ちどくおざんせんゑ 又 ソルバ
高奉ぢくぞのろ ぢさ 又 きゃ ろちが こんる
ふぢんきとさるもちあ ぢどもろやおぢ
るんさくそれじゃアかきのじくざんそ ろちゃア
ぬしの女房のもでまりいさくぶんとゆるして
さぶりいさもあもうまいせんがおめくさんが
そんいよもでいるれこちゃア ぶちきしいやぢと
おさげさくさんせくぶくいさろと 笑ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

どの・おつ・ぬ・ぬ・ぬ